

守る会岡山 43 号  
2020. 6. 1 発行



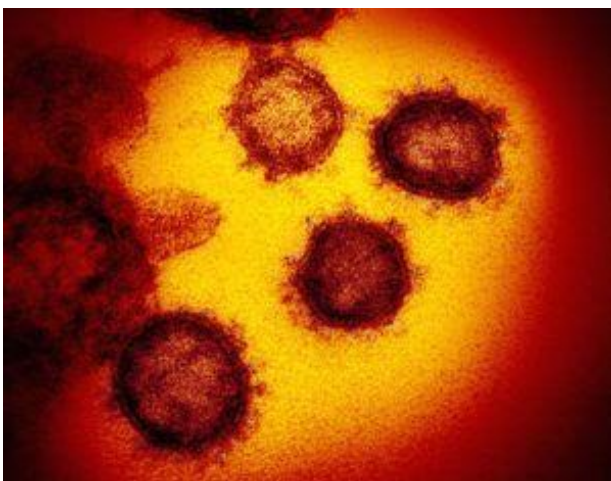
岡山県本部事務局  
〒700-0984 岡山市北区桑田町 18-28  
明治安田生命岡山桑田町ビル 4 階  
086-232-3855

歴史的感染症「新型コロナウイルス」  
前代未聞の感染力に国を挙げて立ち向かっています！  
うつらない！うつさない！



新型コロナウイルスに負けるな！

岡山県本部 森脇 良明



テレビ報道を見ると、毎日のように新型コロナウイルスの感染者が今日何人増えた。どこで感染者が出たという報道を繰り返しています。

政府は全国に発令していた緊急事態宣言を条件付きで39県を解除しましたが、流行再燃の危うさが消えたわけではありません。

岡山県内では、まだ感染者は少ないように思えますが、県内でも感染経路の不明な感染者が増えています。それは確認されていない感染者が周囲にいるからです。

このウイルスが眼、鼻または口の粘膜の細胞に付着すると、突然遺伝コードが変異し倍々方式で増え侵略するそうです。あるクリニックの内科医がウイルスを目に見えないペンキに例え、SNSに投稿した予防法が話題になっているそうです。その予防法は、例えば電車の座席に座ったら、今背中とお尻にたっぷり塗り立てのペンキがついたな？と想像する。そして、そのペンキを眼や口や鼻につけない事です。人間は誰でも、うっかり手で鼻をこすったりします。なので、マスクを持っていればマスクを着用し、なければペンキの付いた手で自分の鼻や口をうっかり触れないよう気を張りましょう。

ウイルス自体は壊れやすく自然に崩壊しますが、何層もの脂質でできた膜に覆われているそうです。その膜を取り除くには、石けんや洗剤を泡立てて洗う、25度以上のお湯で手や衣服を洗う、アルコールで分解させる、漂白剤で破壊するなどが有効です。また15分毎に水を一口飲むのも有効です。水などの飲み物によってウイルスが気管支や肺に侵入する前に食道から胃に入ってしまうと胃酸によりウイルスが死んでしまうからです。

感染リスクを減らす意識が広まれば、感染した人への批判が起こることも心配されています。

新型コロナウイルスと向き合う日々はまだ続きます。人混みする場所を避け、マスクや手洗いの励行により、お互い新型コロナウイルスに感染しないよう気をつけましょう。

## 南 早百合さんふれあい訪問

備前支部 入江 弘

2月18日(火)午後から森脇委員長と備前市日生のこうら荘に南早百合さんを訪ねました。南さんは毎週3日、こうら荘のデイサービスを利用し、毎月1回(木～月曜日)は、あおさぎ特別養護老人ホーム・ケアハウスでショートステイを利用しています。そして毎週3回、ホームヘルパーさんが自宅に来て、一緒に食事を作ったり、買い物に行ったりしています。日曜日だけは一人で過ごされているそうです。

南さんは2年ぶりの訪問をととてもうれしく喜んでいただきました。「守る会の皆さんに会いたいなあ。また機会があれば交流会などにも参加してみたいんよ。」と言われました。

昨年4月、母常子さんの葬儀の時私が撮った写真を見て「ありがとう、ありがとう」とお母さんの葬儀の様子を思い出しておられました。昨年の、全国総会の折、前野理事長から「南さんの母常子さんがおられなかったら今日の守る会はどうなっていたかわからない、守る会に多大な貢献をされた方です。」とお聞きしました。

私は改めて被害者の親たちの闘いで、今日どれだけ多くの被害者が守られているかと思うと恒久救済の道を選んだ正義感に深く感謝し、事件の歴史学習の大切さを知る機会となりました。帰りに森脇委員長が「これからは毎年来るからね。」と、南さんと次回の再会を約束してこうら荘を後にしました。とても有意義なふれあい訪問となりました。



### カキオコと南さんを訪ねて

岡山県本部 春木 範子

コロナウイルスの自粛が始まる前の2月、今年もカキオコの季節を迎え、いつ行こうかと皆で相談する中で、せっかく日生の方まで行くのなら、「南さんに会いに行きたいね」という話になり、彼女の予定を聞いてみると、平日はデイサービスやヘルパーさんの訪問があるので日曜日にして欲しいとのことで、2月23日の日曜日に行く事になりました。コロナウイルス

の影響で「日生のカキまつり」も中止となり、混雑を避けられて良かったと思っていたら大間違い、皆考える事は一緒のようで当日は「カキオコまつり」が中止になったにもかかわらず、道路は車がいっぱいでのろのろとしか進めません。早めに出発したのに昼前になってやっと駐車場に車を止める事が出来て「カキオコ」を食べる事ができました。その後、お土産を捜して市場をうろうろしていると、遅くなったのを心配して南さんから電話が入ったので、慌てて南さん宅に向かいました。久しぶりに会った南さんは元気な笑顔で私たちを待っていてくれました。週に3回はデイサービスに行ったり、それ以外の日はヘルパーさんが訪問してくれて一緒に料理を作ったりと忙しい日々を過ごしているそうです。いろんな話をするなかで、足が悪くなってから家族が心配するので遠出が出来ないので、守る会の皆に会いに行く事が出来ないのがとても残念だと言われていました。楽しいひと時はあっという間に過ぎ、「また来年も来るからね。」と約束して南さんのお宅を後にしました。

## 美作料理教室に参加して

美作支部 野井 浄民

2月22日（土）津山市高倉公民館に於いて、美作支部の定期開催となっている「美作料理教室」が開催されました。

参加者は、美作支部員5名および総社から中倉さんと張谷さんが参加され合計7名でした。

料理は、津山中央病院管理栄養士の森山先生のご指導のもと「鶏ごぼうご飯」「鰯缶とさつまいもの焼きコロケ」「キャベツの梅おろし和え」「豆乳みそ汁」の4品を作りました。

男性参加者は、森山先生をはじめとした女性陣の温かい指導のもと、無事にやり遂げた安堵感と料理の出来栄に自画自賛しました。

出来上がった料理を囲んでの昼食は、美味しい料理と楽しい会話、そして総社から参加のお二人の差し入れもあり、お腹も心も大満足の日でした。



## コロナウイルス 孫の思い

備前支部 吉田康子

我が家の孫はコロナウイルスが猛威を奮っているおかげで、卒業式も入学式も寂しいものになってしまいました。

「卒業式の一週間前から休校になりました。友人と過ごせる時間が突然なくなり受験で不安な中、友人達と直接話しをしたり励まし合ったりする事ができず、心細い思いをしました。

卒業式では、式の短縮で卒業生と親のみで、歌を歌う事も制限があり、なにか物足りない感じで、感動して泣いたりする事が自分も周りもなく、寂しい感じだった卒業式でした。



高校に入ってからは、普通だったらあるはずの、自己紹介や学校案内、近い席の人と一緒に、お弁当を食べたりする事ができず、なかなか話しかけるきっかけや、交流する場所が無く、友人が出来るまでにとっても苦労しました。

やっと友人が出来たと思ったらすぐ休校で話す機会が無くなってしまいました。

高校に入って学びたかった授業などが、なくなりすごく楽しみにしていたので悲しい思いをしています。長期休みのため、まだ授業で習ってないところも自分で学習しないといけなくなり、ひとりで学習していくのは不安でしかたありません。早く元の生活に戻りたいと思います。」

孫の思いを書いてみました。

### 編集部より

新型コロナウイルス、日本はもとより世界的な規模で拡大しています。

感染の拡大は目を見張るほどの勢いで、有効なワクチンや治療薬も無いまま今に至っています。

私たちの生活は大きく変わりました。「平穏な日常」という言葉は、無くなって初めてどれほど大きなものだったかと考えさせられます。子供たちは学校に行けず、会社も自宅待機や時短、お店は閉店状態に、経済活動の多くは停止状態です。

今はひとりひとりが、ウイルスに感染しない、ほかの人に感染させないように気をつけることが、とても大切です。感染しない、広がらせないために、三密の場所（密閉・密集・密接）に気をつけましょう。

皆さんの中にも新型コロナウイルス感染症の影響で生活費や事業費が著しく減少した方もおられるでしょう。経済対策として政府が実施する、特別定額給付金（10万円一律給付）の制度だけでなく、国や自治体独自の給付金や貸付制度が始まっています。

使える制度を利用して「平穏な日常」が戻る日まで頑張りましょう。

### 重要なお知らせ

本年度の森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会全国総会・岡山県総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止になりました。守る会会員の皆様も感染されないよう十分にお気を付けください。なお、議案に対するご意見・ご要望はファックスにて森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会 岡山県本部 FAX 086-232-3027 までお送りください。

機関紙「守る会岡山」に記事投稿、エッセイ、活動報告、制作作品など  
どしどしお寄せください。お待ちしております。

「守る会岡山」ホームページ <http://www.mamorukaiokayama.sakura.ne.jp>